

プレスリリース

2021年4月9日
株式会社 Offisis

**弁当持ち帰りのオフィス、高齢者向け外食宅配のスリーフォレストと提携
用事のついでに物を届け合う「ソーシャルデリバリー」の拡大を目指す
～共同での提携飲食店の拡充や一部システムの共通化を予定～**

飲食店の持ち帰り料理を同僚や知人に受け取ってもらうソーシャルデリバリーサービス「JOY 弁（ジョイ弁）」の開発・運営を行っている株式会社 Offisis（オフィス、本社：東京都豊島区、代表取締役：田野宏一、以下「当社」）は、高齢者向け外食宅配システムとしてソーシャルデリバリーサービス「ハッピーテーブル」の開発・運営を行う株式会社スリーフォレスト（本社：東京都新宿区、代表取締役：三森智仁）とソーシャルデリバリーの更なる普及に向けて業務提携契約を締結しました。



左) 株式会社スリーフォレスト 代表取締役 三森氏 右) 当社代表・田野

■背景と目的

新型コロナウイルスに苦しむ飲食店の救世主と期待されたフードデリバリーサービスですが、配送員が受け取る報酬は低く、飲食店の手数料負担は重く、消費者が負担する配送料は高いという三重苦のビジネスモデルとなっており、本質的な解決に至っておりません。

一方欧米では、「ソーシャルデリバリー」という消費者同士が他の用事で移動するついで



に物を届け合うデリバリーモデルが普及しており、フードデリバリー三重苦の解決が期待されています。

当社では、昨年8月24日より友人・家族・同僚など信頼関係を構築できているコミュニティ向けに、お弁当の注文とお弁当の「ついで受取」を代表者にお問い合わせする機能が実装されたソーシャルデリバリーサービス「JOY 弁」を提供しています。「JOY 弁」システムに登録した飲食店は、従来提供していたメニューを持ち帰り料理として「JOY 弁」アプリ上で売ることが可能で、これまでに東京ミッドタウンをはじめとした都内オフィスビルの飲食店を始め、地方自治体や商店街に導入されてきました。

株式会社スリーフォレストは、2018年より高齢者が注文したい料理を介護施設の職員が代わりに注文、配達してくれる高齢者外食宅配サービス「ハッピーテーブル」を提供し、高齢者施設で外食チェーンのメニューを専用システムよりまとめて注文し、利用者がイベント食や夕食として喫食・テイクアウトする点が好評で、これまでに大手介護法人を中心として30社の介護施設が導入し、約100,000人が利用しています。

当社と株式会社スリーフォレストでは、これまでも店舗のモノやサービスを消費者へ届ける最適な提供方法を共同で研究してきました。そしてこの度、ソーシャルデリバリーのさらなる普及に向けて業務提携を締結するに至りました。

今後は、両社共同での提携飲食店の拡充や両システムの一部共通化の検討等を行い、より効率的・効果的にサービス拡大が実現可能な素地を構築していきます。また、両社がそれぞれ得意とするオフィスや自宅、介護施設といった様々な領域におけるコミュニティ形成のノウハウを活かして、新たな領域へのソーシャルデリバリーサービスの展開を目指してまいります。

■当社代表 田野宏一 コメント

今回、ソーシャルデリバリーサービスの普及という想いを同じくする株式会社スリーフォレスト様とご一緒できることを大変嬉しく思います。同社では、これまで「JOY 弁」がサービスを提供出来ていなかった高齢者介護という領域において、「ハッピーテーブル」というソーシャルデリバリーサービスを実現してこられ、本領域において大変多くの知見をお持ちです。今後は、両社の知見を掛け合わせ、ソーシャルデリバリーサービスの更なる普及を目指すと共に、ラストワンマイル問題の解決に邁進してまいります。

■株式会社スリーフォレスト 代表取締役 三森 智仁氏 コメント

消費増税軽減税率の適用・コロナ以降、外食から中食・デリバリーが普及をしてきている中、この度、株式会社 Offisis 社と共にソーシャルデリバリーを普及させていただく機会を頂戴し大変光栄に思います。当初より業務提携の構想はさせて頂いておりましたが、両社がタッグを組むことで全国・世界規模でスピード感を持ったスケールをしていくことが可能となったことは、兼ねてからソーシャルデリバリーの可能性を信じていた我々にとっても非

常に嬉しい出来事でした。今後はビジネス立地における普及に加えて、あらゆるコミュニティ、地域包括ケアにおけるソーシャルデリバリーの普及に最大限活用をし、世の中に貢献をして参りたいと考えております。

■ ソーシャルデリバリーサービス「JOY 弁」について

お弁当の注文と、注文したお弁当の受け取りを誰かにお願いできるアプリサービスです。「JOY 弁」アプリ上でコミュニティ内（友人、家族、同僚等）のメンバーが注文したお弁当を、代表者が自分の分を取りに行く「ついで」に仲間の分も「まとめて」受け取りに行く仕組みです（=おつかい型配送）。代表者は、受け取りに行くことで注文金額合計の 10%のポイントが付与され、次回お弁当注文時の支払いに充当できます。

① 代表者（=代表して受け取りに行く者）のメリット

「ついで」の配送にも関わらず、10%のおつかいポイントが付与される。

更に、複数名分まとめておつかいすることで、10%×人数分のポイントGET。

② 注文者のメリット

「ついで」に「まとめて」配送してくれるため、10%の配送料で利用可能。

③ 飲食店のメリット

カード決済手数料を含めて 10%という業界最安値の手数料で利用可能。



▲ アプリでの注文の流れ

既存のフードデリバリーサービスは、配送員が受け取る報酬は低く、飲食店の手数料負担は重く、消費者が負担する配送料は高いという三重苦のビジネスモデルとなっており、当社はそれを解決するための新たな仕組みの開発に取り組んでまいりました。欧米ではすでに「ソーシャルデリバリー」という、消費者同士が他の用事で移動するついでに物を届け合うデリバリーモデルが普及していますが、日本のオフィスワーカーの間でも、同僚の弁当をついでに届けるというソーシャルデリバリーに似た行為が日常的に見られます。

当社のソーシャルデリバリーサービス「JOY 弁」は、お弁当の注文と、注文したお弁当の「ついで受取」を代表者にお願いできる機能を実装することにより、配送料や飲食店手数料の大幅減を実現しました。



■ソーシャルデリバリーサービス「JOY 弁」サービス概要

提供開始：2020年8月24日

店舗手数料：商品代金の10%

利用料金：ダウンロード無料（商品購入時に商品代金の支払いあり）

配送者おこづかい：商品代金の10%

■高齢者向け外食宅配サービス「ハッピーテーブル」サービス概要

高齢者向け外食宅配サービス（高齢者施設を主要クライアントとした B2B2C 型のプラットフォームサービス）

提供開始：2018年4月1日

利用料金：登録費・月額料金無料（商品購入代金の10%を利用会社・顧客に還元）

■会社概要

株式会社スリーフォレスト

代表者名：代表取締役 三森 智仁

所在地：東京都新宿区西新宿 7-1-12 クロスオフィス新宿 507

設立年月：2010年11月

事業内容：高齢者向け外食宅配システム「ハッピーテーブル」の開発・運営

ウェブサイト：<https://happytable.jp>、<https://3forest.co.jp/index.html>

株式会社 Offisis

代表者名：代表取締役 田野 宏一

所在地：東京都豊島区目白 3-13-20 DAIGO 304

設立年月：2016年4月

事業内容：①オフィス・レジデンスに向けた各種サービスの提供

②ソーシャルデリバリープラットフォーム「JOY 弁」の開発・運営

ウェブサイト：<https://joy-ben.com>、<https://www.offisis.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Offisis 広報・PR 担当 清田

（電話：070-8503-5493 E-mail：pr@offisis.co.jp）